

## 第3回四国女性研究者活躍推進ネットワーク会議議事要録

- 日時 平成28年9月12日(月) 13:30~14:45
- 場所 徳島会場 日亜ホール(徳島大学常三島キャンパス 産学官連携プラザ3階)  
テレビ会議システムにより、香川大学・愛媛大学・高知大学の会場と中継
- 出席者 別紙名簿参照

※代表機関 徳島大学 阿部理事が議長となり、議事を進行した。  
議事に先立ち、各大学から報告1)及び報告2)について報告があった。

### 〈報告〉

#### 1) 平成27年度女性研究者研究活動支援事業(連携型)活動報告 [報告1 資料参照]

徳島大学 葉久センター長、愛媛大学 土屋センター長、高知大学 廣瀬室長、香川大学 清水副室長の順に、報告1 資料に基づいて報告があった。

#### 2) 平成28年度女性研究者研究活動支援事業(連携型)実施について [報告2 資料参照]

徳島大学 葉久センター長、香川大学 清水副室長、愛媛大学 土屋センター長、高知大学 廣瀬室長の順に、報告2 資料に基づいて報告があった。

徳島大学 葉久センター長から、四国5大学女性研究者活躍推進コンソーシアム形成事業活動報告書の作成について、今後のスケジュールの説明があり、他大学に協力要請があった。

#### 3) 平成28年度JST 現地訪問(平成28年7月8日開催)結果報告 [報告3 資料参照]

阿部議長より、平成28年度JST 現地訪問調査での山村康子プログラム主管の評価・コメントについて説明があった。

### 〈議題〉

#### 1) 平成28年度四国女性研究者活躍推進ネットワーク会議の取組 [議題1 資料参照]

##### (1) 支援機関等の情報共有に関する事

阿部議長より、支援機関等の情報共有について、情報共有の有り方・情報提供の手段や内容等について、各大学へ意見を求めた。

香川大学 清水副室長より、香川大学のホームページをリニューアルするので、四国5大学ポータル Web Site の掲載内容を知るため、共有タグがあると良いのではとの提案があった。

徳島大学 葉久センター長から、四国5大学ポータル Web Site には、連携機関ホームページへのリンクバナーはあるが、より有効な共有方法を検討するとの説明があった。

##### (2) 支援機関等の連携交流に関する事

##### (3) 支援機関等に在職する女性研究者の研究力向上に関して企画すること

##### (4) 支援機関等に在職する女性研究者への総合的支援に関して企画すること

##### (5) その他ネットワーク会議の目的を達成するために必要な活動

阿部議長より、(2)～(5)の事項について、これまで連携事業を行ってきたことをふまえ、今後の連携の在り方について意見を求めた。

香川大学 清水副室長より、連携型事業終了後も連携を継続するための具体的な案があるのかとの質問があった。

徳島大学 阿部議長から、連携の継続については、第2回四国5大学男女共同参画推進連絡協議会にて、四国国立大学協議会で要望することとしたことを受け、第83回四国国立大学協議会において、四国5国立大学の連携体制を、引き続き継続していきたい旨の提案をしたとの報告があった。

現行の四国国立5大学学長による協定書の協定期間は、本補助金の措置期間終了までとなっており、改めて、平成28年度12月または2月の四国国立5大学学長会議にて、協定書の締結を要望していきたいとの提案があった。平成29年度補助金事業応募の検討等も含め、予算を考慮しながら、具体的な事業案について、各大学から、ご提案、協議をお願いしたいとの発言があった。

## 2) 本事業終了後の四国女性研究者活躍推進ネットワーク会議の取組 [議題2 資料参照]

### (1) 本事業終了後の四国女性研究者活躍推進ネットワーク会議の活動継続について

阿部議長より、本事業終了後の四国女性研究者活躍推進ネットワーク会議の活動継続について、各大学に意見を求めた。

香川大学 清水副室長より、これまでの連携事業で一定の成果が上がったものを残し、引き続き、発展させていきたい。今後は、支援室が研究について支援するだけでなく、研究を牽引していく方向性を検討しているとの発言があった。

愛媛大学 土屋センター長より、女性研究者の比率をポジティブアクションで増やしていきたい。予算内で今後もネットワークを継続していきたい。地域との連携も視野に入れていきたいと考えているとの発言があった。

高知大学 廣瀬室長より、これまでに築いてきたものを発展させ、連携を継続していきたいと考えている。今後も、女性比率の向上と男女共同参画を両輪にして推進していきたいとの発言があった。

徳島大学 葉久センター長より、JSTの現地訪問では、四国5大学による連携実施体制を今後も継続して取り組んでいただきたいとコメントされており、終了後の連携事業を検討しつつ、継続して実施していきたい。平成29年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブへの取組についても、検討していきたいとの発言があった。

## 3) 平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助金事業について [議題3 資料参照]

徳島大学 中島コーディネーターより、平成28年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの公募要項概略について報告があり、平成29年度の公募要項は、発表等の時期について未定であるが、例年3月に説明会がある旨、説明があった。

阿部議長より、本事業の応募については、各大学で検討いただき、今後の四国国立5大学連携事業の推進に向けて、情報提供や提案等をお願いしたいとの発言があった。